

東京都渋谷公園通りギャラリー

事業名	会期	概要
「語りの複数形」	2021年4月10日 ～6月27日	現代美術家とアール・ブリュット作家によって、人間がさまざまな感覚を用いて語りを立ち上げる様子が、模型や写真、映像、音、触る写真などの形で表現されます。鑑賞者は見るだけでなく、聴く、触る、歩くなど、さまざまな行為を通して、作品を鑑賞します。あらゆる人間に本質的に備わった「共感する力」として五感をとらえ、自分と異なる背景や感覚特性をもつ他者への想像力や理解を深める体験をつくります。
アール・ブリュット2021 特別展	〔巡回会場〕 2021年4月～7月 〔東京都渋谷公園通りギャラリー〕 2021年7月17日 ～9月26日	アール・ブリュット作品の紹介を通じ、多様な人々の創造に触れる機会とするため、これまでに高く評価された国内外の代表的なアール・ブリュット作家による作品の展覧会を開催します。より多くの方にご覧いただけるよう、区市町村などと連携し都内3箇所を巡回した後、東京2020大会開催期間に合わせて東京都渋谷公園通りギャラリーで展示します。
「都築響一プレゼンツ おかんアート」	2021年10月9日 ～12月12日	1980年代末にアール・ブリュット/アウトサイダー・アートを日本で紹介した編集者・作家の都築響一をゲストキュレーターに招聘し、都築が2000年代以降日本各地で追い続けてきた「おかんアート」(おかん＝“おかあさん”による手芸品)の数々を、都築が撮影した写真とともに紹介します。
「アウト・オブ・ライン」	2022年1月22日 ～3月27日	日本とアメリカの代表的なアール・ブリュット作家、そして、国内の現代美術家による作品を有機的につなげて紹介し、多様な創造活動に触れる機会を創出します。「線」をキーワードとし、日米の作家による様々な表現形態の作品を取り上げます。日本でほとんど展示されていないアメリカのアール・ブリュット作品を交えることにより、国内のアール・ブリュットに対するイメージの刷新を図り、多角的な捉え方ができる展覧会を開催します。
交流プログラム	2021年4月1日 ～2022年3月31日	様々な背景を持つ参加者が、多分野にまたがるアーティストや専門家と交流することができる各種プログラムを通じ、アートを通じた社会における多様性や共生を考える機会を創出します。

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。
詳細は東京都渋谷公園通りギャラリー広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

東京都渋谷公園通りギャラリー

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館 1階

電話 03-5422-3151 FAX 03-3464-5241

<https://inclusion-art.jp>

【開館時間】11時～19時

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。(最新情報は公式サイトでご確認ください)